

P B X 間相互接続試験実施要領

私設総合サービス網（名前通知付加サービス）

- P B X 間信号プロトコル仕様 -

（ JS - 13868 ）

H A T S 推進会議

（ 高度通信システム相互接続推進会議 ）

P B X テレコムサーバ相互接続試験実施連絡会

TTC 相互接続試験実施ガイドライン

PBX 間相互接続試験 実施ガイドライン

私設総合サービス網（名前通知付加サービス）
- PBX間信号プロトコル仕様 -
（JS - 13868）

第 1 版

2000年 9月12日 制定

社団法人
電信電話技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

TTC相互接続試験実施ガイドライン改版履歴

(PBX相互接続試験実施ガイドライン)

私設総合サービス網(名前通知付加サービス) - PBX間信号プロトコル仕様 -
(JS-13868)

版数	制定日	改版内容
第1版	2000年9月12日	制定

目 次

第1章	目的	2
第2章	相互接続試験の対象範囲	3
2.1	試験対象機器	3
2.2	接続形態	3
2.3	試験対象サービス	3
2.4	準拠すべき標準	4
第3章	相互接続試験の実施形態	5
第4章	相互接続試験参加条件	6
4.1	前提条件	6
4.2	不定期接続試験依頼の対応	6
第5章	試験実施方法	7
5.1	事前確認	7
5.2	実施場所	7
5.3	試験の実施	7
5.3.1	試験での留意点	7
5.3.2	各試験での共通手順等	7
5.4	相互接続試験手順等	7
5.4.1	名前通知付加サービス相互接続試験	7
第6章	試験結果の取りまとめとその後の手続き	8
6.1	試験結果の取りまとめ	8
6.2	TT C標準準拠表示について	8

第1章 目的

国際電気通信連合（ITU）での国際的な標準化、（社）電信電話技術委員会（TTC）での国内標準の作成ならびに商用サービスの開始等を契機として、我が国でのISDN利用は着実に拡大している。

私設網における、デジタルインタフェース（共通チャンネル形信号方式）としてJT-Q921-a、JT-Q931-a、JS-11572が国内標準として制定されており、その後、PBX間において名前通知付加サービス（「発信者名通知」及び「接続先名通知」）を実現する際に必要な規定を定めた、「JS-13868 私設総合サービス網（名前通知付加サービス）-PBX間信号プロトコル仕様」が平成10年に制定された。

上記基準などに基づく製品が各製造業者から製造・販売される中で、各ユーザのPBX導入を円滑に促進する為には、各製造業者間での相互接続性の確保が必要不可欠であるが、製品化初期においては、標準に準拠して製造される製品同士でも異なる製造業者間での相互接続性が確保されない場合があり、相互接続性の確保が重要な課題となっている。

本ガイドラインは、このような状況を鑑み、各社が製造するPBX間での共通チャンネル形信号方式による相互接続性を確保するため実施すべき相互接続試験の内容、手順等について規定するものである。今後、通信機械工業会が事務局を務める「PBX相互接続試験実施連絡会」等の相互接続実施機関（自ら相互接続試験を実施するものを含む）等において、本ガイドラインにしたがった相互接続試験が実施されることを通じて、我が国におけるPBXの普及に向けた環境整備が発展すると共に、標準の実効性、新たな標準への反映等に資するものである。

尚、試験環境及び試験機器に対するデータ設定等に関しては、相互接続実施機関等が別に定める接続試験実施要領書に従うこととする。

第2章 相互接続試験の対象範囲

PBXの相互接続性は、相互のPBXに端末を接続し、端末 - 端末間での相互接続性を確認することを通じてPBX間のQ点インタフェースの機能を間接的に確認するものとする。

ここでQ点とは、物理インタフェースに依存しないPBX間の論理的参照点である。

2.1 試験対象機器

ISDNサービスを提供するPBX（ボタン電話を含む）であり、2.4に示す標準（共通チャンネル形信号方式等）に準拠するよう開発された装置とする。

2.2 接続形態

PBX間を直接接続し、そのリンク上で共通チャンネル形信号方式による接続試験を行う。

図1に接続形態を示す。

2.3 試験対象サービス

回線交換サービス

（注）試験対象サービスは製品の実装により決定される。

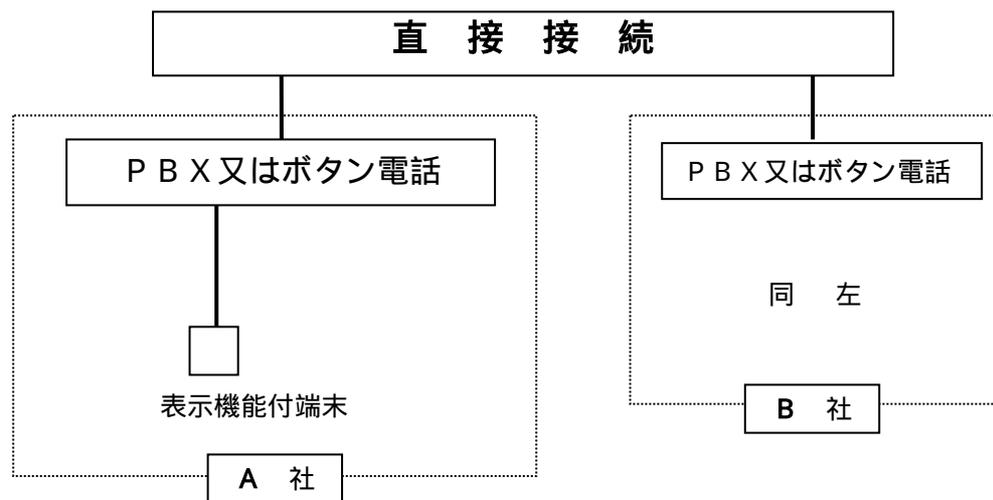


図1 相互接続試験形態

2.4 準拠すべき標準

- ・ TTC標準 JS 13868 私設総合サービス網(名前通知付加サービス)
- PBX間信号プロトコル仕様 -

(注) 相互接続試験の実施に関し、以下の標準を参考のために記載する。

- ・ TTC標準 JT-Q931-a PBX間デジタルインターフェース(共通呼び形信号方式)-レイヤ3仕様-
- ・ TTC標準 JS-11572 私設総合サービス網(回線交換ベアラサービス)
- PBX間信号プロトコルレイヤ3仕様 -
- ・ TTC標準 JS-11582 私設総合サービス網(付加サービスのための汎用機能手順)
- PBX間信号プロトコルレイヤ3仕様 -
- ・ TTC標準 JS-13869 私設総合サービス網(通信中転送付加サービス)
- PBX間信号プロトコル仕様 -
- ・ TTC標準 JS-13873 私設総合サービス網(着信転送付加サービス)
- PBX間信号プロトコル仕様 -

第3章 相互接続試験の実施形態

相互接続試験の実施形態は以下の4形態に分類される。

発信者名通知

発信局PBXに収容された端末より発信し、着信局PBXに収容された表示機能付端末の着信中に発信端末の名前が表示されることを確認する。

着信者名通知

発信局PBXに収容された表示機能付端末より発信し、着信局PBXに収容された端末に着信した時、発信者の端末に着信端末の名前が表示されることを確認する。

接続先名通知

発信局PBXに収容された表示機能付端末より発信し、着信局PBXに収容された端末が応答した時、発信者の端末に応答端末の名前が表示されることを確認する。

話中者名通知

発信局PBXに収容された表示機能付端末より発信し、着信局PBXに収容された端末が話中の時、発信者の端末に話中端末の名前が表示されることを確認する。

第4章 相互接続試験参加条件

4.1 前提条件

相互接続試験参加にあたっては、以下の条件を前提とする。

- (1) 相互接続試験で使用する表示機能付端末は、ISO8859-1 または ITU-T T.61 で規定された文字が表示できる端末に限る。
- (2) 3章の「相互接続試験の実施形態」において 発信者名通知及び 接続先名通知の試験は必須試験とするが、その他の 着信者名通知及び 話中者名通知の試験については、必須試験ではなく希望製造者間でのみ実施するものとする。

4.2 不定期接続試験依頼の対応

不定期に接続試験の依頼があった場合は既に接続試験の結果が得られている2社以上の製造業者が参加し、接続試験を行う。

第5章 試験実施方法

5.1 事前確認

試験参加各社は、呼設定メッセージ・呼出メッセージ・応答メッセージおよび切断メッセージの伝達能力・チャンネル識別子・ファシリティ・理由表示のコーディング・条件リストについて事前に情報交換を行う。

(参考として、コーディングの様式を別紙1-1～1-8、条件リストを別紙2-1、2-2に示す。なお、これらの様式の内容は、試験内容の変化等に応じ、相互接続機関等で適宜変更されるものである。)

5.2 実施場所

試験実施場所に関しては、相互接続試験実施機関等が指定する試験場所に機器を持ち込んで実施する。

5.3 試験の実施

5.3.1 試験での留意点

試験の実施にあたっては、効率的に試験を実施する為、トラブル発生時においても原因究明及び対策は別途行い、問題点摘出を優先して実施し、各試験を一定時間内に終了するよう留意する。

5.3.2 各試験での共通手順等

各試験の共通の手順等を以下に示す。

- ・原則として、各製造業者等の試験対象機器の総当たりにより試験を実施する。
着番号情報は、試験参加者間で仮の局番を付与し、発信者は着信者に対して局番(例えば7×)と内線番号を送出するものとする。

5.4 相互接続試験手順等

5.4.1 名前通知付加サービス相互接続試験

(1) 事前確認項目

呼設定メッセージ・呼出メッセージ・応答メッセージおよび切断メッセージの伝達能力・チャンネル識別子・ファシリティ・理由表示を事前に確認すること。

(2) 試験項目

呼設定メッセージ・呼出メッセージ・応答メッセージおよび切断メッセージの発信者名通知/接続先名通知が正常に通知されたことを確認する。

(参考としてチェックリストを別紙3-1、3-2に付す)

なお、3章の「相互接続試験の実施形態」で 着信者名通知または 話中者名通知の接続試験を希望しない製造業者は、実施する試験形態に使用するメッセージのみ確認するものとする。

(3) 試験手順

共通チャンネル形信号方式(TTC標準 JT-Q931-a又はJS-11572)にてPBX間の専用線パスが設定されている状態で以下のパターンの試験を実施する。なお、3章の「相互接続試験の実施形態」で 着信者名通知または 話中者名通知の接続試験を希望しない製造業者は、パターン2・パターン4を実施しなくてもよい。

<パターン1：発信者名通知の確認>

A社の端末より発信し、B社の表示機能付端末を呼び出す。

B社の表示機能付端末にA社発信端末の名前が表示出来ることを確認する。

<パターン2：着信者名通知の確認>

A社の表示機能付端末より発信し、B社の端末を呼び出す。

A社の表示機能付端末にB社着信端末の名前が表示出来ることを確認する。

<パターン3：接続先名通知の確認>

A社の表示機能付端末より発信し、B社の端末を呼び出し、B社の端末で応答する。

A社の表示機能付端末にB社応答端末の名前が表示出来ることを確認する。

<パターン4：話中者名通知の確認>

A社の表示機能付端末より発信し、B社の話中端末を呼び出す。

A社の表示機能付端末にB社の話中端末の名前が表示出来ることを確認する。

第6章 試験結果の取りまとめとその後の手続き

6.1 試験結果の取りまとめ

相互接続試験終了後、相互接続実施機関等は試験結果を取りまとめるものとする。

(様式の例を別紙3-1、3-2、別紙4-1、4-2に示す。)

当該機関等は、必要に応じ相互接続試験結果を標準活動にフィードバックするものとする。

6.2 T T C 標準準拠表示について

相互接続試験を実施し良好な試験結果を得た製造業者等が、T T C 標準準拠表示を行おうとする時には、「T T C 標準準拠表示取扱要領」に従い、同試験の結果を添付した書類をT T C に届け出ることとする。その届け出により、本ガイドラインに基づき試験が実施され、所期の試験結果が得られたことをT T C が確認した場合には、当該機器がT T C 標準等に準拠していることを示すT T C マークまたは取扱説明書等へ文書による表示を行うことが可能となる。

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

発信者名通知(CNIP)
 (J T - Q 9 3 1 - a)

発信時の呼設定メッセージの通信可能性に関する情報要素
 [パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

伝 達 能 力 (B C)			チャネル識別子		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	0 0 0 0 0 1 0 0	0 4	1	0 0 0 1 1 0 0 0	1 8
2			2		
3			3		
4			3.1		
4 a			3.2		
4 b			3.3		
5					
5 a					
5 b					
5 c					
5 d					
6					
7					

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

発信者名通知(CNIP)
 (J T - Q 9 3 1 - a)

発信時の呼設定メッセージの通信可能性に関する情報要素
 [パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	0 0 0 1 1 1 0 0	1 C	2 1			4 1		
2			2 2			4 2		
3			2 3			4 3		
4			2 4			4 4		
5			2 5			4 5		
6			2 6			4 6		
7			2 7			4 7		
8			2 8			4 8		
9			2 9			4 9		
1 0			3 0			5 0		
1 1			3 1			5 1		
1 2			3 2			5 2		
1 3			3 3			5 3		
1 4			3 4			5 4		
1 5			3 5			5 5		
1 6			3 6			5 6		
1 7			3 7			5 7		
1 8			3 8			5 8		
1 9			3 9			5 9		
2 0			4 0			6 0		

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

別紙 1 - 2 (1 / 2)

会社名 _____
担 当 _____
T E L _____
F A X _____

接続先名通知(C O N P)
(J T - Q 9 3 1 - a)

発信時の呼出メッセージの通信可能性に関する情報要素

[パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

チャネル識別子					
オクテット	コーディング				
1	0 0 0 1 1 0 0 0	1 8			
2					
3					
3.1					
3.2					
3.3					

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

接続先名通知(C O N P)
 (J T - Q 9 3 1 - a)

発信時の呼出メッセージの通信可能性に関する情報要素

[パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	0 0 0 1 1 1 0 0	1 C	2 1			4 1		
2			2 2			4 2		
3			2 3			4 3		
4			2 4			4 4		
5			2 5			4 5		
6			2 6			4 6		
7			2 7			4 7		
8			2 8			4 8		
9			2 9			4 9		
1 0			3 0			5 0		
1 1			3 1			5 1		
1 2			3 2			5 2		
1 3			3 3			5 3		
1 4			3 4			5 4		
1 5			3 5			5 5		
1 6			3 6			5 6		
1 7			3 7			5 7		
1 8			3 8			5 8		
1 9			3 9			5 9		
2 0			4 0			6 0		

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

接続先名通知(C O N P)
 (J T - Q 9 3 1 - a)

発信時の応答メッセージの通信可能性に関する情報要素
 [パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

チャネル識別子					
オクテット	コーディング				
1	0 0 0 1 1 0 0 0	1 8			
2					
3					
3.1					
3.2					
3.3					

- [記入上の注意点]
- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
 - (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名

担 当

T E L

F A X

接続先名通知(C O N P)

(J T - Q 9 3 1 - a)

発信時の応答メッセージの通信可能性に関する情報要素

[パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ					
オクテット	コーディング	オクテット	コーディング	オクテット	コーディング
1	0 0 0 1 1 1 0 0	1 C	2 1	4 1	
2			2 2	4 2	
3			2 3	4 3	
4			2 4	4 4	
5			2 5	4 5	
6			2 6	4 6	
7			2 7	4 7	
8			2 8	4 8	
9			2 9	4 9	
1 0			3 0	5 0	
1 1			3 1	5 1	
1 2			3 2	5 2	
1 3			3 3	5 3	
1 4			3 4	5 4	
1 5			3 5	5 5	
1 6			3 6	5 6	
1 7			3 7	5 7	
1 8			3 8	5 8	
1 9			3 9	5 9	
2 0			4 0	6 0	

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

接続先名通知(C O N P)
 (J T - Q 9 3 1 - a)

発信時の切断メッセージの通信可能性に関する情報要素
 [パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

理由表示			
オクテット	コーディング		
1	0 0 0 0 1 0 0 0 0 8		
2			
3			
4			
5			

- [記入上の注意点]
- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
 - (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

接続先名通知(C O N P)
 (J T - Q 9 3 1 - a)

発信時の切断メッセージの通信可能性に関する情報要素
 [パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	0 0 0 1 1 1 0 0	1 C	2 1			4 1		
2			2 2			4 2		
3			2 3			4 3		
4			2 4			4 4		
5			2 5			4 5		
6			2 6			4 6		
7			2 7			4 7		
8			2 8			4 8		
9			2 9			4 9		
1 0			3 0			5 0		
1 1			3 1			5 1		
1 2			3 2			5 2		
1 3			3 3			5 3		
1 4			3 4			5 4		
1 5			3 5			5 5		
1 6			3 6			5 6		
1 7			3 7			5 7		
1 8			3 8			5 8		
1 9			3 9			5 9		
2 0			4 0			6 0		

- [記入上の注意点]
- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
 - (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

別紙 1 - 5 (1 / 2)

会社名 _____
担 当 _____
T E L _____
F A X _____

発信者名通知(CNIP)
(J S - 1 1 5 7 2)

発信時の呼設定メッセージの通信可能性に関する情報要素
[パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

伝達能力 (B C)			チャネル識別子		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	0 0 0 0 0 1 0 0	0 4	1	0 0 0 1 1 0 0 0	1 8
2			2		
3			3		
4			3.1		
4 a			3.2		
4 b			3.3		
5					
5 a					
5 b					
5 c					
5 d					
6					
7					

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

発信者名通知(CNIP)
 (J S - 1 1 5 7 2)

発信時の呼設定メッセージの通信可能性に関する情報要素
 [パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	0 0 0 1 1 1 0 0	1 C	2 1			4 1		
2			2 2			4 2		
3			2 3			4 3		
4			2 4			4 4		
5			2 5			4 5		
6			2 6			4 6		
7			2 7			4 7		
8			2 8			4 8		
9			2 9			4 9		
1 0			3 0			5 0		
1 1			3 1			5 1		
1 2			3 2			5 2		
1 3			3 3			5 3		
1 4			3 4			5 4		
1 5			3 5			5 5		
1 6			3 6			5 6		
1 7			3 7			5 7		
1 8			3 8			5 8		
1 9			3 9			5 9		
2 0			4 0			6 0		

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

別紙 1 - 6 (1 / 2)

会社名 _____
担 当 _____
T E L _____
F A X _____

接続先名通知(C O N P)
(J S - 1 1 5 7 2)

発信時の呼出メッセージの通信可能性に関する情報要素

[パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

チャンネル識別子					
オクテット	コーディング				
1	0 0 0 1 1 0 0 0	1 8			
2					
3					
3.1					
3.2					
3.3					

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名

担 当

T E L

F A X

接続先名通知(C O N P)

(J S - 1 1 5 7 2)

発信時の呼出メッセージの通信可能性に関する情報要素

[パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ					
オクテット	コーディング	オクテット	コーディング	オクテット	コーディング
1	0 0 0 1 1 1 0 0	1 C	2 1	4 1	
2			2 2	4 2	
3			2 3	4 3	
4			2 4	4 4	
5			2 5	4 5	
6			2 6	4 6	
7			2 7	4 7	
8			2 8	4 8	
9			2 9	4 9	
1 0			3 0	5 0	
1 1			3 1	5 1	
1 2			3 2	5 2	
1 3			3 3	5 3	
1 4			3 4	5 4	
1 5			3 5	5 5	
1 6			3 6	5 6	
1 7			3 7	5 7	
1 8			3 8	5 8	
1 9			3 9	5 9	
2 0			4 0	6 0	

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
担 当 _____
T E L _____
F A X _____

接続先名通知(C O N P)
(J S - 1 1 5 7 2)

発信時の応答メッセージの通信可能性に関する情報要素
[パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

チャネル識別子					
オクテット	コーディング				
1	0 0 0 1 1 0 0 0	1 8			
2					
3					
3.1					
3.2					
3.3					

- [記入上の注意点]
- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
 - (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

接続先名通知(C O N P)
 (J S - 1 1 5 7 2)

発信時の応答メッセージの通信可能性に関する情報要素
 [パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ					
オクテット	コーディング	オクテット	コーディング	オクテット	コーディング
1	0 0 0 1 1 1 0 0 1 C	2 1		4 1	
2		2 2		4 2	
3		2 3		4 3	
4		2 4		4 4	
5		2 5		4 5	
6		2 6		4 6	
7		2 7		4 7	
8		2 8		4 8	
9		2 9		4 9	
1 0		3 0		5 0	
1 1		3 1		5 1	
1 2		3 2		5 2	
1 3		3 3		5 3	
1 4		3 4		5 4	
1 5		3 5		5 5	
1 6		3 6		5 6	
1 7		3 7		5 7	
1 8		3 8		5 8	
1 9		3 9		5 9	
2 0		4 0		6 0	

- [記入上の注意点]
- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
 - (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名 _____
 担 当 _____
 T E L _____
 F A X _____

接続先名通知(C O N P)
 (J S - 1 1 5 7 2)

発信時の切断メッセージの通信可能性に関する情報要素
 [パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

理由表示					
オクテット	コーディング				
1	0 0 0 0 1 0 0 0	0 8			
2					
3					
4					
5					

- [記入上の注意点]
- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
 - (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名

担 当

T E L

F A X

接続先名通知(C O N P)

(J S - 1 1 5 7 2)

発信時の切断メッセージの通信可能性に関する情報要素

[パターン /] (複数パターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ					
オクテット	コーディング	オクテット	コーディング	オクテット	コーディング
1	0 0 0 1 1 1 0 0	1 C	2 1	4 1	
2			2 2	4 2	
3			2 3	4 3	
4			2 4	4 4	
5			2 5	4 5	
6			2 6	4 6	
7			2 7	4 7	
8			2 8	4 8	
9			2 9	4 9	
1 0			3 0	5 0	
1 1			3 1	5 1	
1 2			3 2	5 2	
1 3			3 3	5 3	
1 4			3 4	5 4	
1 5			3 5	5 5	
1 6			3 6	5 6	
1 7			3 7	5 7	
1 8			3 8	5 8	
1 9			3 9	5 9	
2 0			4 0	6 0	

[記入上の注意点]

- (1) 省略されるオクテットには、何も記入せずblankとすること。
- (2) 提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名等を記入すること。

[備 考]

会社名

担 当

T E L

F A X

名前通知付加サービス相互接続試験条件リスト (J T - Q 9 3 1 - a)

	項 目	選択パラメータ	備 考
1	プロトコル識別子	4 2	
2	呼番号長	2	
3	着番号のオクテット 3	8 0 その他	その他の時はオクテット 3 のみ記入する ()
4	発番号のオクテット 3	8 0 その他	その他の時はオクテット 3 のみ記入する ()
5	発番号のオクテット 3 a	省略 その他	その他の時はオクテット 3 a のみ記入する ()
6	リスタート受信時の手順	A C K をかえす	リスタートの範囲はチャネル毎、インタフェース毎、全インタフェースの 3 種がありうる

[記入上の注意点]

- (1) 提出される様式には、1 枚 1 枚必ず会社名等を記入すること。

会社名

担 当

T E L

F A X

名前通知付加サービス相互接続試験条件リスト (J S - 1 1 5 7 2)

	項 目	選択パラメータ	備 考
1	プロトコル識別子	0 8	
2	呼番号長	2	
3	着番号のオクテット 3	8 0 その他	その他の時はオクテット 3 のみ記入する ()
4	発番号のオクテット 3	8 0 その他	その他の時はオクテット 3 のみ記入する ()
5	発番号のオクテット 3 a	省略 その他	その他の時はオクテット 3 a のみ記入する ()
6	リスタート受信時の手順	A C K をかえす	リスタートの範囲はチャンネル毎、インタフェース毎、全インタフェースの 3 種がありうる

[記入上の注意点]

- (1) 提出される様式には、1 枚 1 枚必ず会社名等を記入すること。

(注) 試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信	会社名・部課名	機種名
	殿		発信者名	

FAX

名前通知付加サービス相互接続試験 チェックリスト (JT-Q931-a)

項目	チェック項目	判定基準										
1	発信者名通知 (CNIP)	正常に着ユーザに発ユーザの名前 (発信側名) を表示できること。 (判定 ・ または ×)										
2	着信者名通知	正常に発ユーザに呼び出されたユーザの名前 (着信者名) を表示できること。 (判定 ・ または ×)										
3	接続先名通知 (CONP)	正常に発ユーザの呼に応答したユーザの名前 (接続先名) を表示できること。 (判定 ・ または ×)										
4	話中者名通知	正常に発ユーザに呼び出され、接続できなかった着ユーザの名前 (話中者名) を表示できること。 (判定 ・ または ×)										
総合評価 (判定 ・ または ×)												
試験日時			月日									
			: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :
備考												

(注) 試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信	会社名・部課名	機種名
	殿		発信者名	

FAX

名前通知付加サービス相互接続試験 チェックリスト (JS - 11572)

項目	チェック項目	判定基準									
1	発信者名通知 (CNIP)	正常に着ユーザに発ユーザの名前(発信側名)を表示できること。 (判定 ・ または ×)									
2	着信者名通知	正常に発ユーザに呼び出されたユーザの名前(着信者名)を表示できること。 (判定 ・ または ×)									
3	接続先名通知 (CONP)	正常に発ユーザの呼に応答したユーザの名前(接続先名)を表示できること。 (判定 ・ または ×)									
4	話中者名通知	正常に発ユーザに呼び出され、接続できなかった着ユーザの名前(話中者名)を表示できること。 (判定 ・ または ×)									
総合評価 (判定 ・ または ×)											
試験日時			月日 : ~ :								
備考											

P B X 相互接続試験結果表 (J T - Q 9 3 1 - a)

		試験日						
		月	日					
着側 発側								

判定 : 接続可
 × : 接続不可

P B X相互接続試験結果表 (J S - 1 1 5 7 2)

		試験日						
		月	日					
着側 発側								

判定 : 接続可
x : 接続不可